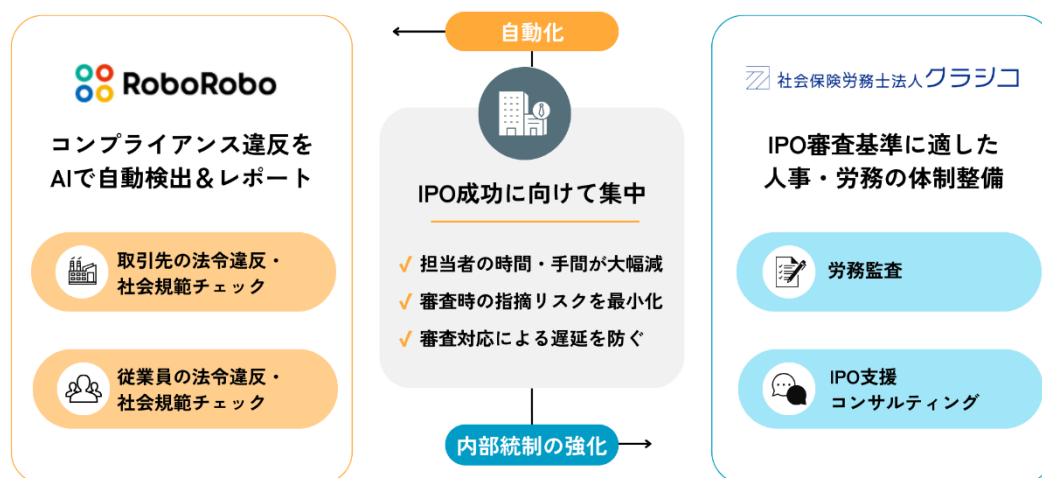


オープンの「RoboRobo コンプライアンスチェック」と
社会保険労務士法人クラシコが業務提携
～IPO 準備にかかる時間と担当者の負担の課題を一気に解決、
AI×コンプライアンスチェックという新しい仕組みで企業の成長スピードを後押し～

オープングループ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：高橋 知道）の子会社であるオープン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役執行役員社長：石井 岳之、以下「オープン」）は、提供する自動化サービス「RoboRobo コンプライアンスチェック」と社会保険労務士法人クラシコ（本社：大阪市中央区、代表：柴垣和也、以下「クラシコ」）が、2月28日（金）より業務提携を開始したことをお知らせします。

このパートナーシップを通じ、IPO 準備における現場担当者の負担を減らすとともに、コンプライアンスチェックのスピードとレベルの向上を目指します。

AI自動化で負担を減らし、
スケジュール通りのIPO成功へ



万全のコンプライアンスチェックで、IPO 審査をスムーズにクリアするサポート体制

■業務提携の背景

政府や証券取引所が上場促進策を講じ、上場審査の簡素化や新たな市場区分（グロース市場など）の創設も相まって、中小企業やスタートアップ企業でも上場を目指しやすい市場環境が生まれています。また、企業統治改革や情報開示の充実など、上場企業の質を高めるための制度改革も進められています。

【報道関係お問い合わせ先】

オープン株式会社 広報担当：高橋 亜希子

Mail : pr.biz@open.co.jp

このような社会の動きに連動するかのように IPO を視野に入れる企業が増加傾向にある中で、スケジュール通りの上場を実現するため、スピード感を持って準備を進めたいと考える企業が多々ありますが、スタートアップなどの成長速度の速い企業では人員増強や組織変更が頻繁に行われることもあり、担当者が多忙で対応が追いつかないという課題を抱えています。

そこで IPO 準備に活用できる自動化サービス「RoboRobo コンプライアンスチェック」を提供するオープンは、顧問先の IPO 準備を支援するクラシコと業務提携を行い、厳格な審査基準を満たすための準備にかかる時間を確保する仕組みづくりに寄与し、担当者の工数を大幅に削減するためのサポート体制を構築することとなりました。

■IPO におけるコンプライアンスチェックの必要性

コンプライアンスチェックは経営の透明性を確保し、投資家や監査機関の信頼を得るために不可欠なプロセスです。そのためにも経営状態や労務管理体制、社会的信用の精査が求められます。

オープンとクラシコでは、以下のふたつの課題があると考えています。

◆課題 1 膨大な情報を網羅的に調査するためには、多大な時間と労力が必要

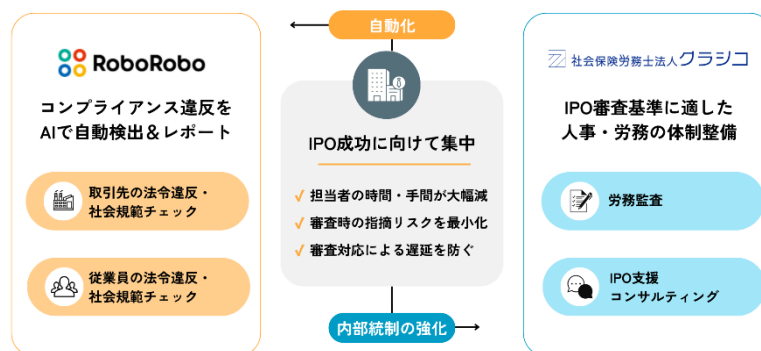
調査項目が無数にあるため、担当者の負担は大きく、リスク情報の見落としにもつながる。特に反社チェックの場合は、検索結果を一つずつ精査し、エビデンスを保存する作業が発生。

◆課題 2 コンプライアンス違反やリスクを正しく評価できない

上場基準でリスクを正しく評価するためには、専門的な知識が求められる。
誤った解釈や対応はトラブルやスケジュールの遅延につながる。

■二社の協業体制について

IPO 準備の過程で、クラシコはこれまで通り労務管理領域を担い、それ以外の法令違反や社会規範に反する活動のチェックの分野で、顧問先のニーズに合わせながら「RoboRobo コンプライアンスチェック」を紹介していきます。



IPO 準備を加速し、審査対応の負担を最小限に

【報道関係お問い合わせ先】

オープン株式会社 広報担当：高橋 亜希子

Mail : pr.biz@open.co.jp

特に作業効率と情報の正確性の向上の面において、担当者の業務で発生する、

- ・ 検索結果を 1 件ずつ確認し、キャプチャを保存するという膨大な工数
- ・ チェック時の検索ワードや調査範囲の設定ミスで重要な情報を見逃す可能性
- ・ 担当者ごとにネガティブ情報の信憑性や影響度の判断が異なることのリスク

という課題を「RoboRobo コンプライアンスチェック」で解決することを目指します。

■今後の展望

IPO 審査の通過は単なるゴールではありません。上場後も持続可能な成長を実現するためにも、コンプライアンスの継続的なチェックは必要になります。

両社は、上場後も企業が安心して成長戦略を組めるよう、リスクを未然に防ぎ、安定した経営基盤を築くための包括的なサポートを提供していきます。

■RoboRobo コンプライアンスチェックについて



RoboRobo コンプライアンスチェックは、取引先の法令違反や社会規範に反する活動がないかを自動でチェックができるクラウドサービスです。生成 AI/LLM を活用し独自開発した「AI 注目度判定」「記事要約・解析」により、業務担当者の意思決定を圧倒的に楽にします。

詳細はサービスサイト：<https://roborobo.co.jp/lp/risk-check/> をご覧ください。

■社会保険労務士法人クラシコの IPO 支援サービス

クラシコでは顧問先の IPO 準備の課題解決のため、専門的な労務監査とコンサルティングを提供し、上場スケジュールを意識したスピーディーな改善を目指しています。

適切な労務管理が行われていない場合、IPO 審査で指摘される可能性があり、場合によってはスケジュールの遅延や上場自体の見直しにもつながることがあります。そのため、労務監査は単なる形式的な確認ではなく、企業価値を高めるための重要な取り組みとして実施する必要があります。

◆労務監査

IPO 審査基準に精通した専門家が監修し、労働時間・未払賃金・就業規則といった主要項目から、ハラスメントや安全配慮義務までを徹底的にチェック。

コンプライアンス違反を見逃さない点検項目で労務監査を行います。

監査結果はリスクの重要度に応じて分類された報告書として提供し、IPO 審査に向けた優先的な対応策を明確にします。監査後はコンサルタントがフィードバック面談を行い、課題解決に向けた具体的なプランを提供します。

◆IPO 支援コンサルティング

労務監査から抽出された課題に対して、改善計画の策定から実行支援までを一元化した IPO 支援コンサ

【報道関係お問い合わせ先】

オープン株式会社 広報担当：高橋 亜希子

Mail : pr.biz@open.co.jp

ルディングを提供しています。

課題発見から解決までをシームレスに対応するため、IPO スケジュールに合わせた迅速な改善策の実行が可能です。

就業規則の改訂、人事制度の見直し、未払賃金の精算など、監査法人・証券会社・投資家が求める基準を理解し、「指摘される前にリスクを摘み取る」事前対策を徹底することで、スムーズな IPO 実現をサポートしています。

【会社概要】

■オープン株式会社 (<https://open.co.jp/>)

- ・本社所在地：東京都港区西新橋 3-3-1 KDX 西新橋ビル 3 階
- ・設立：2013 年 7 月
- ・代表者：代表取締役執行役員社長 石井 岳之
- ・資本金：3,000 万円
- ・事業内容：スマートロボット（RPA、AI）を活用した情報処理サービス、コンサルタント事業、アウトソーシング事業、デジタルマーケティング、オンライン広告事業

■社会保険労務士法人クラシコ (<https://classico-os.com/>)

クラシコは成長企業に向け、高度な労務支援を提供している社会保険労務士法人です。労務監査専門のチームを持ち、N-2 期～N 期の企業の労務監査を多く手がけてきました。実務目線での分かりやすいアドバイスと IPO 準備企業特有の課題に対する支援で、企業の持続的な成長をサポートしています。

- ・所在地：大阪市中央区博労町 3-2-8 岩田東急ビル 8 階
- ・代表者：柴垣 和也
- ・事業内容：人事労務 顧問サービス、各種保険事務アウトソーシング、IPO 支援、労務監査
給与計算アウトソーシング、助成金申請、コンサルティング（人事制度構築、
人材育成制度構築、就業規則／規程作成）、
クラシコメディカル（医療機関向け労務管理サービス）

【報道関係お問い合わせ先】

オープン株式会社 広報担当：高橋 亜希子
Mail : pr.biz@open.co.jp